

市川市立第一中学校

1学期終業式講話



令和7年7月18日
校長 猪又 雅広

本日の内容

1. グローカルで物事を考える
2. ボランティアについて
3. 非認知能力について

1. グローバルで物事を考える

グローバル（地球規模で起きていること）

+

ロー**カル**（自分の足元） 自分の学校・学級

= 自分事として何ができるかを考える？

世界ではたくさんの戦争や紛争が起きている。



紛争の起きている地域

16 平和と紛争
ふんそう げんいん
戦争・紛争の原因とは何か?

ふんそう ちいき
紛争の起きている地域

約 60 か所

主にアフリカ・アジア

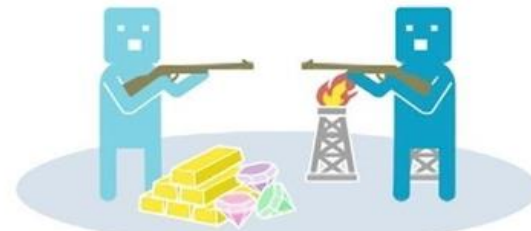
The Peace Research Institute Oslo (PRIO), "Trends in Armed Conflict, 1946-2020", 2021

戦争・紛争の原因

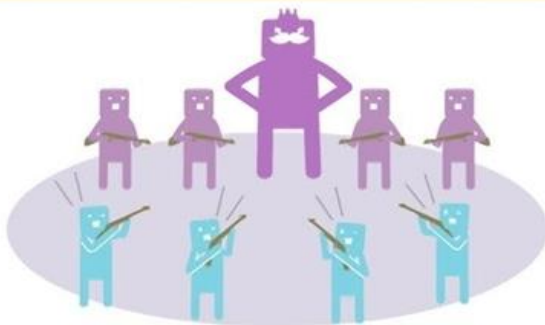
16 戦争・紛争の原因とは何か?



領土の争い



資源の争い



政治の争い



民族・宗教の争い

**自分たちが戦争を起こさないために
何ができるのか？**

自分事にして考える

**自分の学級・学校・部活動等、所属して
いる集団で**

戦争→争い

具体的には

どんなに対立が深まっても話し合いの扉
を閉ざさない

話し合いの上位目標

全ての人にとって「平和」

戦争(争い)も終わった後が大切

NG

勝った側が負けた側に対して過酷な要求を行う

→負けた側の人々に不満が高まる。

→不満が溜まることで、また戦争（争い）
が繰り返される

結論

戦った（争った）もの同士がこれまでの
憎しみを捨てて、いかに協力し合えるかが、
次の戦争（争い）を生まないカギになる

※あなたが× 私が◎

2. ボランティアのすすめ

ボランティアの語源？

ボランティアの語源

ラテン語：「volō」 ヴォロー→自分から進んで○
○する。

ボランティアの歴史？

17世紀中頃イギリス

○自分の地域を自分たちで守る→ボランティアという言葉が使われた。

○背景：戦乱の続くヨーロッパで「自警団」という意味に変化

○日本：1995年阪神淡路大震災で急速にボランティアの存在が知れ渡る。その後の東日本大震災でも。

ボランティアをする上で1番大切なこと

助けられる側と助ける側がいつも対等

ということ？

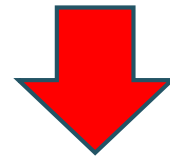
**市川小：お化け屋敷、国府台小：このうとり
祭り中国分小：ペットボトル制作発射大会等**

地域の行事で自分たちが育ててもらった。

(中学生も参加して、育ててもらっています。)



支え合う関係(お互い様)だから対等



だから：ボランティアとして支えるし、将来、自分たちが大人になった時、自分たちが行事を運営する。

★地域で子どもを育てる★

○良いことをすれば褒めてもらえる。

→保護者や先生以外の地域の大人が普段は教えてくれないような別の世界や世代の話を教えてくれる。

○悪いことをすれば怒ってもらえる。

→大きな事故や事件につながらない。

→安心・安全な街

これが
できる街が
すばらしい
素晴らしい街

★災害等有事の際に、この地域の関係性が大きな力となる。

お知らせ

令和7年8月24日（日）お化け屋敷募集中

【今後の予定】

ペットボトルロケット大会
ナカコクナイトスクール
こうのとりの祭り等

これから求められる非認知能力をつけよう

認知能力：計算力・語学力等

・・・学力テストではかれる力

非認知能力：感情・心の能力

・・・学力テストではかれない力

なぜ非認知能力が求められるか？

これからの社会は急速に変化

学校で学んだ知識だけでは一生過ごすことが
難しい時代

主な非認知能力

①自分を信じる力

②意欲を高く集中して取り組む力

③自分の気持ちをコントロールする力、忍耐力

④他者と協力できる力、コミュニケーション力

※まさにボランティア

最後に

みんなの住んでいる市川の街を

「地域で子どもを育てられる街にして誇りと愛着を持ってほしい。」

★そのためにボランティアに★
参加しよう！！